

令和8年度 都立高校生等の海外派遣研修「Global Visit」カナダコース 活動報告

東京都立葛西工科高等学校

令和8年9月26日から10日2日までの間、本校建築科2年生4名が「Global Visit」カナダコースに参加しました。研修テーマである『訪問国の、社会をよりよくする工夫・取組を学び、東京の発展に生かす提案をしよう』のもと、本校ではサブテーマを「東京とバンクーバーの住まい」とし、現地で研修を行いました。

主な訪問地の研修内容について、以下の通り、報告します。

【1日目】 9月26日(土)

① スタンレーパーク 視察

- ・バンクーバー中心部に隣接する自然保全された公園で、海岸遊歩道が整備されていた。
- ・公園内には先住民の歴史文化であるトーテムポールが設置されていた。



【2日目】 9月27日(日)

② スコーミッシュ・シャノンフォールズ 視察

- ・巨大な岩壁や森林に囲まれた地形に、落差335mの迫力のある滝を見学した。
- ・Sea to Sky Gondola に乗車し、山岳積雪地の景観や木造建築を見学した。



③ スティーブストン 視察

- ・産業遺産である缶詰工場博物館を訪問し、当時の漁村集落に住む日本人移民の暮らしについて学んだ。
- ・ブリタニア・シップ・ヤードやムラカミハウスを見学し、水辺に建つ高床式の木造住宅について学んだ。



【3日目】 9月28日(月)

④ 在バンクーバー日本国総領事館 表敬訪問（会場は近隣ホテルの会議場）※写真掲載不可

- ・総領事の方からバンクーバーに関する講話を拝聴し、外交官とのグループワークを行った。
- ・本校生徒が代表挨拶を行い、表敬訪問の感謝を伝えることができた。

⑤ 現地高校(Kwantlen Park Secondary School) 学校訪問

- ・歓迎セレモニーのあと、班別行動を行い、校舎内の施設見学や、現地の授業を参観することができた。
- ・現地の高校生と、バンクーバーの住まい、公共交通機関、学校の様子などを質問することができた。



【4日目】 9月29日(火)

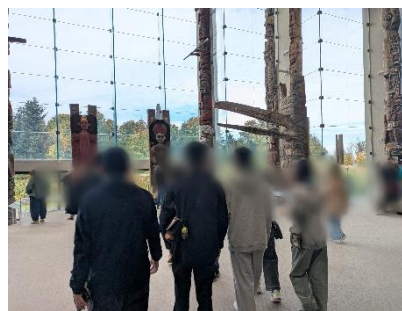
⑥ ブリティッシュコロンビア大学(UBC) 学校見学

- ・日本人講師から、大学のインクルーシブ教育の理念や、9月30日の「真実と和解の日」について学んだ。
- ・現地大学生と班別のキャンパスツアーを行いながら、バンクーバーの建築や都市環境に関する質問を行った。



⑦ UBC 人類博物館 施設見学

- ・カナダを代表する建築家が設計し、先住民の集会場を現代風に解釈したデザインとした、ガラスやコンクリートと木材を融合した展示施設を見学した。大型のトーテムポールが並ぶ開放的な大空間が特にインパクトがあった。



⑧ ウェスト・バンクーバー・シニア・アクティビティー・センター 訪問 ※写真掲載なし

- ・高齢者を孤立させず、快適で安心して過ごせる「人に寄り添った」施設で、木材を活かした温かい空間だった。
- ・中庭を中心に、食堂や運動室、工作室など多機能な室が配置し、ユニバーサルデザインを重視した施設だった。

【5日目】 9月30日(水)

⑨ リッチモンド・オリンピック・オーバル（2010バンクーバー冬季五輪・競技会場）施設見学

- ・木材と鉄骨を組み合わせたハイブリット構造であり、虫害を受けた木材を活用したサステナブル建築だった。
- ・現地職員に質問を行い、先住民や自然環境に配慮し、五輪後も有効活用するための計画設計について学んだ。



⑩ グランビル・アイランド 視察

- ・セメント工場などの工業地帯だった建物群を保存し、商業や文化の拠点となる複合施設に都市再生し、港や高架橋などの水辺空間の景観と融合した魅力的な施設を視察することができた。



⑪ ギヤスタウン 視察

- ・「バンクーバー発祥の地」であり、石畳の道路やレトロな街灯、赤レンガや石造の建物が並ぶ歴史的な地区を見学した。15分ごとにメロディを奏でるシンボルの存在の蒸気時計など、異国情緒を感じることができた。



【6日目】 10月1日(木)

⑫ ChopValue 企業見学 ※写真掲載不可

- ・使い捨て箸を回収し、家具や建築材料へ再生するバンクーバー発企業の作業工程や工場内の施設を見学した。
- ・廃棄物を資源活用し、地域で回収から製造まで行う仕組みは、理想的なサステナブルな考え方だと学んだ。

以上、現地訪問して学んだことや質疑応答から、「東京とバンクーバーの住まい」について内容を振り返り、将来の東京の発展に向けた提案をまとめて、2月に行われる成果報告会のポスターセッションの発表ができるように、引き続き、取り組みたいと思います。

令和8年10月7日